



JSS 便り

ジャパニーズ・ソーシャル・サービス ニュースレター

前ファンドレイジング 委員長に感謝を込めて

by デービッド池田

今回ある方に感謝の意を捧げるにあたり、普段の会長からのメッセージに埋もれてしまわないよう、特別に紙面を割いていただきました。

この場をお借りしまして、長年 JSS に貢献してくださった山本順子氏に、私から、そして JSS 全体から御礼申し上げます。

山本氏とご主人のサムさんが、前会長・前川威男氏が司会された理事会に参加されたのは 8 年前のことでした。前川氏の JSS の活動についてのプレゼンテーションにお二人が熱心に耳を傾けていらしたのを覚えております。

その理事会の直後、山本氏は JSS 理事会に参加されました。山本氏とサムさんのお二人は 5 年間で JSS に 10,000 ドルの寄付をおこなうとの誓約を立てられました。順子氏はそれに加えてファンドレイジング・チェアマンの役職を引き受けて下さいました。JSS にはそれまでファンドレイジングを専門に担当する方がおりませんでした。それまでのファンドレイジングといえば、トーク須山氏の素晴らしいトント・チャレンジ、それにウィンフォード・シニアズと共同開催したホットランチプログラムといった小規模のイベントに限られていました。

山本氏は JSS 史上最大の成功を収めた 2016 年秋のピアノコンサートの企画立案者でした。日本から高名なピアニスト夫婦

をお招きして開かれたこのコンサートは大盛況で、グレン・グールド・コンサートホールがほぼ満員になるほどでした。その他にも、山本氏はサムさんの 80 歳の誕生日パーティを JSS へのファンドレイジング・イベントにし、約 13,000 ドルの寄付金を集めてくださいました。

これまで多大な貢献をしてくださった山本氏ですが、個人的なご事情により理事会を去ることになりました。どんなに寂しくなることでしょう。しかし、山本氏は引き続き JSS のために働いて下さっています。今夏、新進気鋭のイリュージョニスト、田中大貴氏を日本から招いたのもその一つです。山本氏のご自宅を特別ショーのために公開し、チケットの収益を全て JSS に寄付して下さいました。

紙面の制約があり、これ以上山本氏の貢献についてお伝えすることはできませんが、JSS を代表いたしまして山本氏に心より感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。氏のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

JSS 会長からのメッセージ

by デービッド池田

JSS にとって 9 月は大変特別な月でした。

夏休み明けの 9 月、今秋初めての理事会が開催されました。また、JSS と JSS を利用される方々のために日頃ご尽力下さっているボランティアの皆様へ感謝を込めて、毎年恒例のボランティア感謝パーティ

も開催いたしました。

JSS では多くの方々が多岐にわたるボランティア活動に貢献されています。そのいくつかをご紹介します。

こんにちはプログラムのボランティアさんたちは、日本語を話す高齢者の方や、孤立した暮らしを余儀なくされている方々を定期的に訪問しています。サービス利用者の中には認知症の方もいらっしゃいます。まとまった「ジャパン・タウン」がなく、日系コミュニティが GTA 全体に散らばっていることから、プログラムの維持には大変な労力がかかります。近親者が近くにいらっしゃらない方、特に精神や記憶に障害をお持ちの方は孤立しやすい状況にあります。こんにちはボランティアの方達は、定期的にサービス利用者の状態を JSS カウンセラーに伝えるとともに、孤立した状況を少しでも和らげるお手伝いをしています。

年間を通してカウンセリング以外のオフィス業務を補助していただくボランティアの方々にもお世話になっています。中でも重要なのは毎年恒例のホリデー・ドライブ（歳末助け合い運動）の開催です。ホリデー・ドライブは、助けを必要としている個人やご家族に寄付されたプレゼントを届ける活動で、ボランティアの皆様は宣伝から寄付集め、寄付された食料や物資の整理、さらにプレゼントの宅配まであらゆる面でプログラムを支えています。

今回ご紹介したのはボランティアの皆様が携わっている活動のほんの一部にすぎません。JSS は数多くのコミュニティ・アウトリーチ・プログラムを行っており、そのほとんどが

ボランティアの方々によって支えられています。

また、9月には戦略的プランが発足いたしました。このプランはトロント大学と提携している非営利団体 Endeavour の寛大なご支援によって実現しました。財務、技術、非営利組織の専門家8人がボランティアとして JSS と協働し、JSS の将来と健全な財務経営のための戦略を作り上げたのです。

Endeavour 計画の一環として実施したクライアント向けのアンケートでは、多くの方々から JSS のサービスを必要としており、かつ大変満足しているとの回答をいただきました。ご協力くださった皆様に感謝いたします。皆様のご回答は戦略プランを作る上で大変貴重な資料となっただけでなく、サービスを今後も続け、さらに改善していく推進力を与えてくださいました。また、質の高いサービスを提供している JSS スタッフにも、この場を借りてお礼をしたいと存じます。多くの日系コミュニティの皆様が JSS のサービスを利用し、今後もサービスやプログラムに参加し続けて下さるのは、スタッフの尽力によるものです。

JSS は組織として、さらに財務的に、様々な困難に直面しています。JSS が今後もコミュニティに貢献し続けていくためには、専門家による調査とアドバイス、また理事会を中心とするより系統だった組織の再編成が欠かせません。JSS 理事会は JSS をより良い未来に導くため、実行可能なプランと近い将来に達成可能な目標を立てるべく議論を重ねました。戦略的計画立案には実行可能な戦略と目標までの筋道を立てることが必要です。この困難な仕事にリーダーとして取り組み、JSS の将来のため実行可能なプランを築いてくださった理事会の皆様へ厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、JSS メンバー、コミュニ

ティの皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。理事会、スタッフ、そして JSS 全員を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

「Run for a Reason」 秋のファンドレイジングイベント

JSS にとって最も重要なファンドレイジングイベントが近づいてまいりました。10月21日日曜日に開催される「Run for a Reason」です。JSS スタッフ、理事、そしてボランティアのみなさんが、トロントで開催されるスコシアバンク・ウォーターフロント・マラソンに歩行、もしくはランニングで参加します。5キロの歩行とランニングはエキゼクションからスタートし市庁舎まで、マラソンは市庁舎をスタートし、また市庁舎に戻ってくるコースです。

今年も参加者へのご支援をよろしくお願いいたします。書類はウェブサイトから、もしくは JSS 事務所ですぐ入手できます。JSS ウェブサイト (www.jss.ca) からのご寄付いただけます。「Support JSS (JSS を支援する)」のリンクからペイパルのロゴをクリックしていただき、「add details and amount (詳細と寄付額を追記する)」欄に「Run for a Reason」宛の寄付であることを明記してください。JSS のランナー、またはウォーカー宛に直接寄付していただくこともできます。小切手での寄付の場合は、本ニュースレターに記載してある住所まで郵送いただければ幸いです。10ドル以上のご寄付に関しては、郵送先住所をいただければインカムタックスレシートを発行いたします。

皆様のご支援に深く感謝いたします。

年末恒例のホリデードライブ

トロント在住のサポートを必要としている日

本人や日系カナダ人の皆さんが少しでも楽しく歳末を過ごせるよう、今年もぜひ皆様のご協力をお願いします。

腐らない食品、新品のおもちゃや防寒衣類等を、各地域団体や店舗等に設置しておりますドネーション用の箱に11月3日～12月9日の間にお入れ下さい。

利用者のニーズにより多く答えるため、今年は特に寄付金を歓迎します。ホリデーライブ用と明記し、小切手を直接 JSS までお持ちいただくか、表紙記載の JSS 住所迄送付下さい。

皆様、どうぞよい年をお迎え下さい。

JSS のウェブサイトでは
更りに多くの情報が掲載されております。

<http://www.jss.ca> と
Facebook (Japanese Social Services) を御覧ください。

新しいオンライン JSS 便りも
Web から閲覧可能です。
"日本語"をクリックして下さい。

<http://jss.ca>

JSS ニュース謝辞

編集:

デービッド・池田

制作:

アンソニー・リリアフェルト

寄稿者:

デービッド・池田

翻訳者:

世古有佳里

ボランティアの方々とは職員に
感謝します。